



帳票 DX モバイルエントリー カスタムレイアウト作成ガイド Salesforce 版

Ver.1.6

株式会社オプロ

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/12/05	新規発行
1.1	2020/05/20	チェックボックス項目のプロパティについて、説明を追加
1.2	2022/05/06	カスタムレイアウトを OPROARTS Connector v2 で設定する手順を追加
1.3	2023/05/11	表紙のタイトルを「AppsME」から「帳票 DX モバイルエントリー」に変更。
1.4	2024/02/15	「AppsME」の記載を「帳票 DX モバイルエントリー」に変更
1.5	2024/03/14	
1.6	2025/02/14	「OPROARTS Connector のインストール」の内容を変更

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

本書の使い方

※ 「AppsME」は 2023 年 2 月をもちまして「帳票 DX モバイルエントリー」に名称を変更いたしました。

本書は株式会社オプロが提供する「帳票 DX モバイルエントリー」のカスタムレイアウト作成ガイド（Salesforce 版）です。

本書をご利用いただくことで、モバイル端末の帳票 DX モバイルエントリーで Salesforce のレコードを表示する際のレイアウトをカスタマイズすることができるようになることを目的としています。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作するうえで知っていると便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. はじめに.....	5
2. 全体の流れ.....	7
3. OPROARTS の設定.....	8
3.1 OPROARTS Connector のインストール	8
3.2 「LAD」レコードの登録	11
4. カスタムレイアウトの設定.....	13
4.1 カスタムレイアウトの作成	13
4.2 カスタムレイアウトのデザイン.....	15
4.2.1 デザイナー画面の各機能説明	15
4.2.2 実際にデザインする.....	19
4.3 カスタムレイアウトの配備	26
5. モバイル端末での設定.....	27
5.1 作成したカスタムレイアウトを反映する	27
5.2 カスタムレイアウトを解除する.....	29

1. はじめに

ここでは帳票 DX モバイルエントリーの「カスタムレイアウト」機能がどのようなものか説明します。

帳票 DX モバイルエントリーでは Salesforce に登録されているレコードをモバイル端末上で閲覧・編集することができます。

デフォルトの設定ではレコードの詳細画面は以下のような標準レイアウトですが、このレイアウトをカスタマイズすることでより現場で使用しやすいものに変えることができます。

レコード詳細

レコード情報 添付画像 手書き 関連レコード

基本情報

商談名	United Oil Installations
取引先 ID	United Oil & Gas Corp.
金額	350,000
完了予定日	2022/12/22

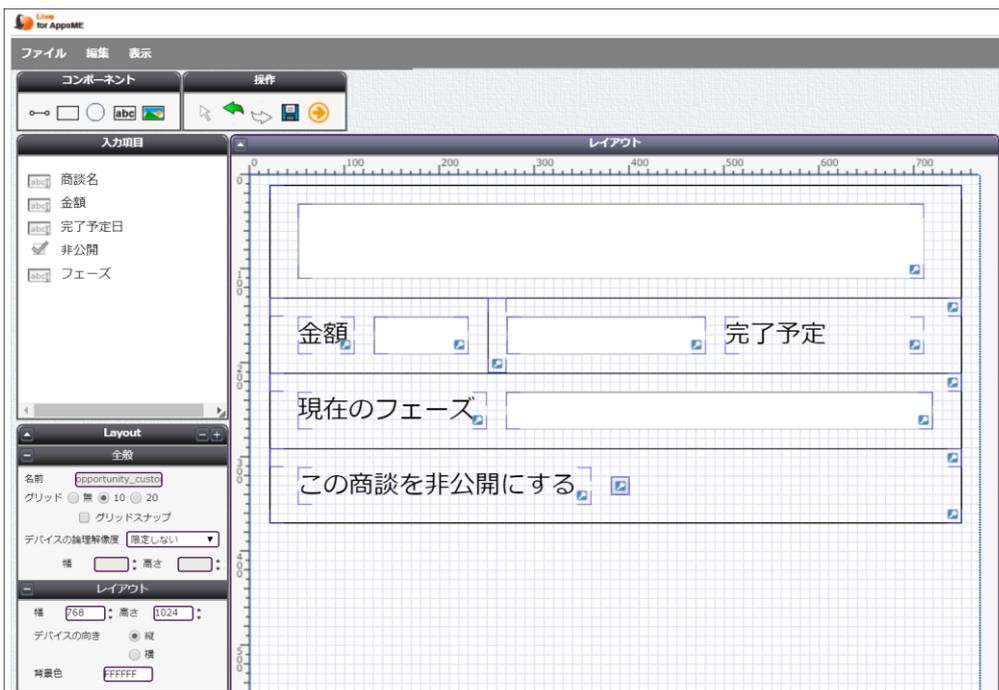
補足情報

非公開	
フェーズ	Negotiation/Review
売上予測分類	パイプライン

操作アイコン: 削除, 印刷, 編集

レイアウトは OPROARTS の専用のデザイナーを用いて作成します。

[参照] 4. カスタムレイアウトの設定



レイアウトを作成後、モバイル端末の帳票 DX モバイルエントリーアプリでレイアウトを同期することで詳細画面のレイアウトが作成したものと同一ものになります。

[参照] 5. モバイル端末での設定

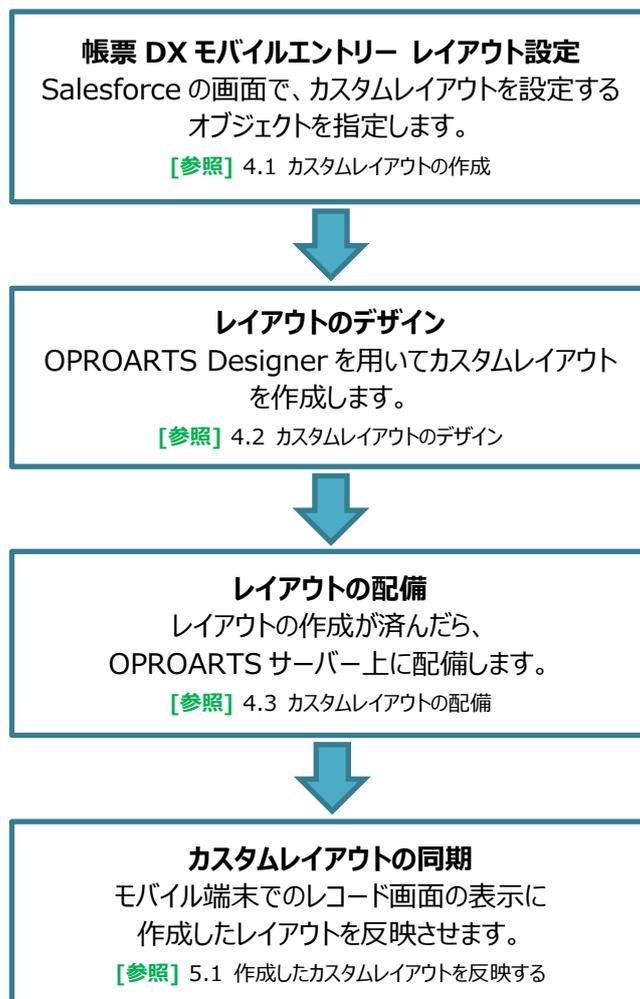
モバイルアプリの記録詳細画面のスクリーンショット。画面の上部には「記録詳細」というタイトルと、戻るボタン、ホームボタンがあります。下部には「記録情報」「添付画像」「手書き」「関連記録」のタブがあり、「記録情報」が選択されています。

United Oil Installations		
金額 35,000	2022/12/22	完了予定
現在のフェーズ	Closed Won	
この商談を非公開にする		

画面下部には、削除（赤いゴミ箱）、複製（青いコピー）、編集（緑いペン）のアイコンが並んでいます。

2. 全体の流れ

カスタムレイアウトを作成して、帳票 DX モバイルエントリーのレコード画面に反映するまでの流れを説明します。



3. OPROARTS の設定

カスタムレイアウトを作成するためには OPROARTS の機能を使用する必要があります。
OPROARTS Connector をインストールし、「LAD」レコードを登録します。

3.1 OPROARTS Connector のインストール

【インストールする前に】

以下のいずれかがインストール済みの組織では、本章の OPROARTS Connector のインストールは不要です。

- OPROARTS Connector
- soarize もしくは ソアスク
- docutize
- 帳票 DX for Salesforce

以下の手順で、インストール済みかどうかを確認します。

1. [] ボタンをクリックし、「設定」をクリックします。



2. クイック検索に「インストール」と入力します。「インストール済みパッケージ」を選択します。



3. インストール済みパッケージ>「パッケージ名」を確認します。



- OPROARTS Connector
- soarize もしくは ソアスク
- docutize
- 帳票 DX for Salesforce

のいずれもインストール済みでない場合、「OPROARTS Connector」を入手します。
OPROARTS Connector v2 のインストール URL がご不明の場合はオプロへお問い合わせください。

1. ライセンスの割り当て先を選択し、[インストール]ボタンをクリックします。
例では、「すべてのユーザのインストール」にチェックを入れています。



※「バージョン名」と「バージョン番号」は、2021 年 2 月 22 日時点のものです。

2. 「インストール完了!」もしくは「このアプリケーションのインストールには時間がかかります。」とメッセージ表示されます。
[完了] ボタンをクリックします。
※インストールに時間がかかる場合は、インストール完了の通知メールが届くまでしばらくの間お待ちください。

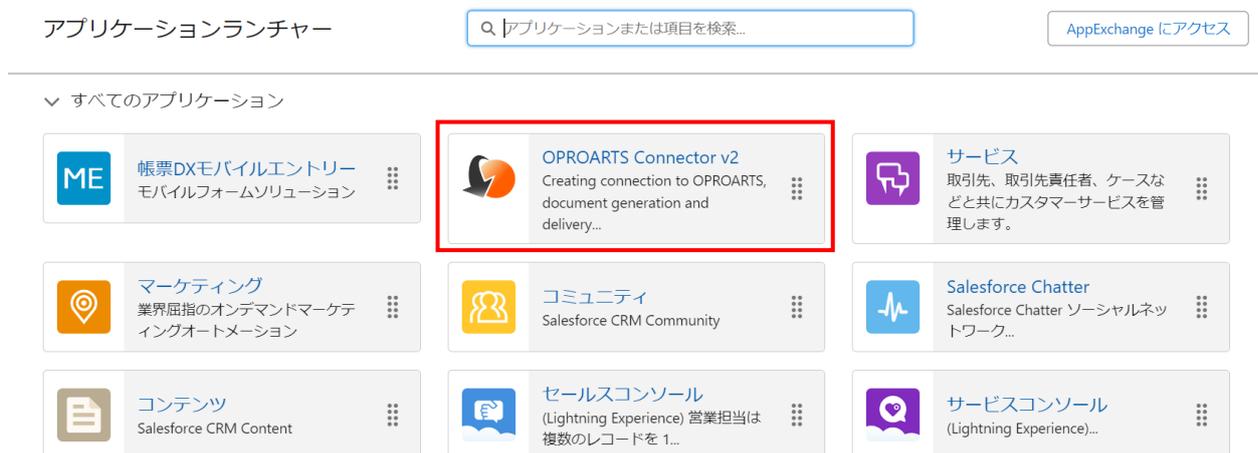


Point インストール完了のお知らせはメールでも通知されます。

3.2 「LAD」レコードの登録

カスタムレイアウトを作成するためには、OPROARTS のライセンス「LAD」が必要です。
そのため、インストールした「OPROARTS Connector」アプリで「LAD」レコードを作成し、カスタムレイアウトを作成するユーザーを割り当てます。

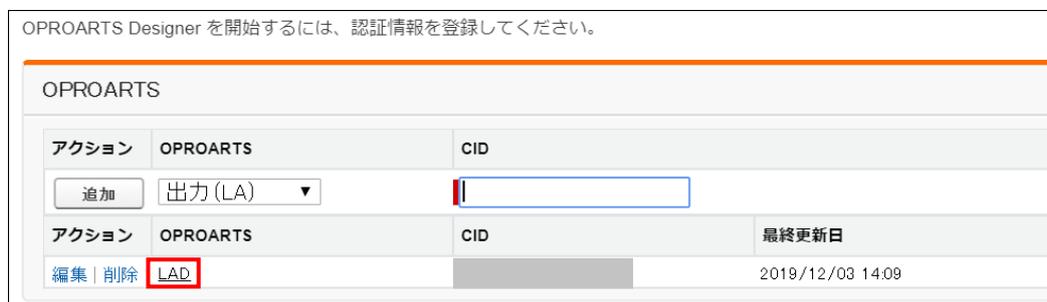
1. アプリケーションランチャーで「OPROARTS Connector」をクリックします。



2. 「OPROARTS Connector」タブをクリックしたら、画面下部にて OPROARTS の CID を入力し、OPROARTS に「デザイン (LAD)」を選択して「追加」をクリックします。



3. 作成した「LAD」レコードをクリックします。



4. カスタムレイアウトを作成するユーザーを選択し、OPROARTS の UID と UPW を入力したら「追加」をクリックします。

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	[redacted]	[redacted]	[redacted]

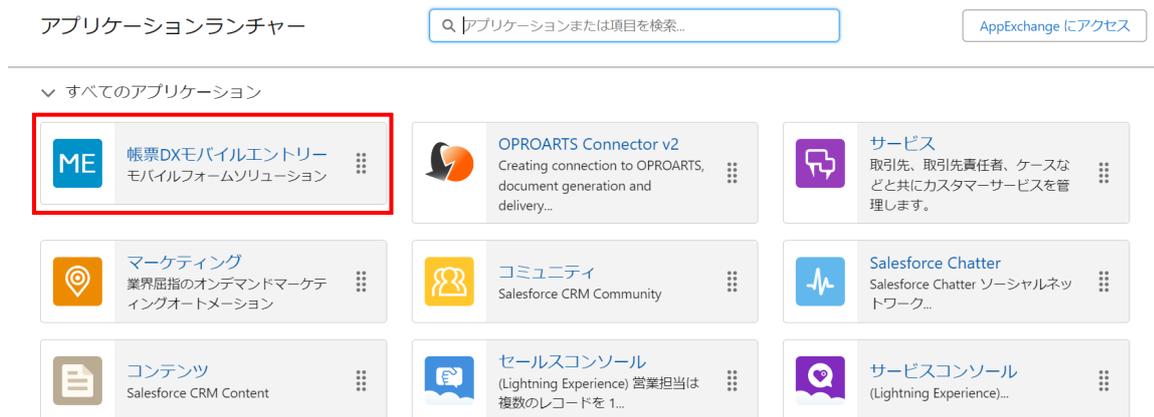
以上の設定が終われば、設定したユーザーでカスタムレイアウトの作成が可能になります。

4. カスタムレイアウトの設定

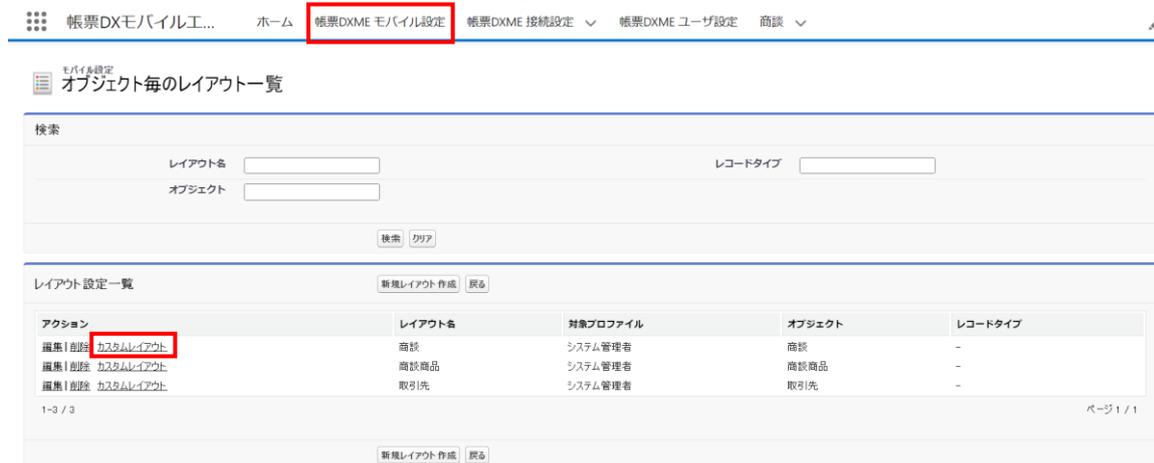
帳票 DX モバイルエントリーでレコードの表示をカスタマイズしたいオブジェクトに、カスタムレイアウトを設定します。

4.1 カスタムレイアウトの作成

1. Salesforce にログインし、アプリケーションランチャーで「帳票 DX モバイルエントリー」をクリックします。



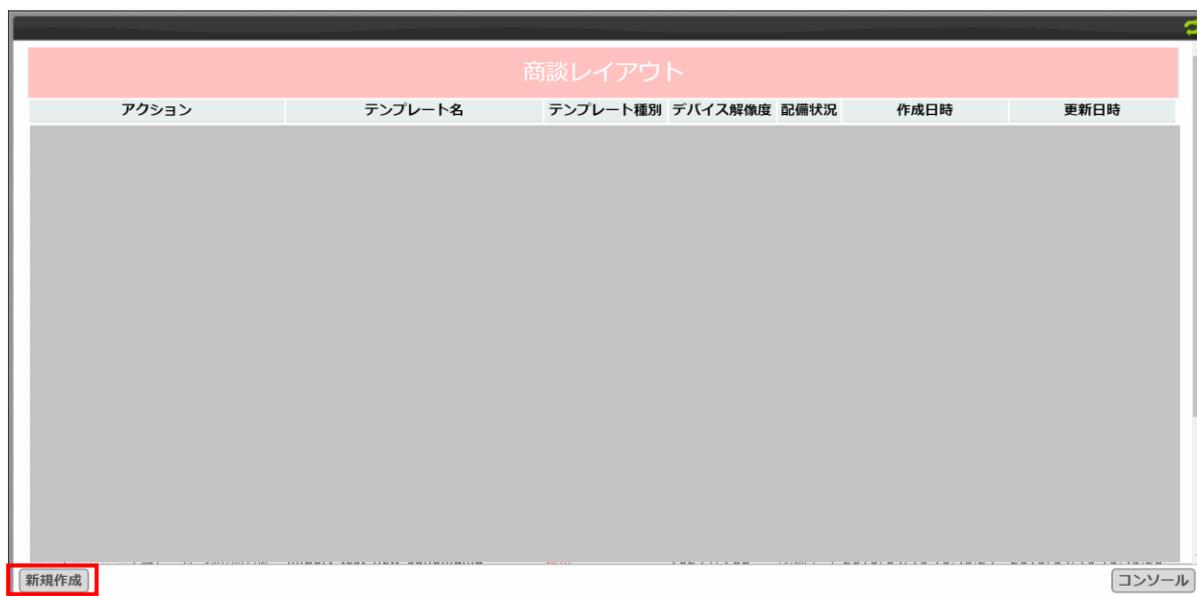
2. [帳票 DXME モバイル設定]タブで[オブジェクト毎のレイアウト一覧]をクリックしたら、カスタムレイアウトを設定したいオブジェクトの行に表示されている[カスタムレイアウト]をクリックします。



注意 「カスタムレイアウト」のボタンが表示されない場合は、OPROARTS のLADレコードに操作中のユーザーが登録されていないので、[3.2 「LAD」レコードの登録](#)の操作を行ってください。

注意 OPROARTS Connector v2、soarize もしくは ソアスク、docutize、帳票 DX for Salesforce のいずれかをご使用の場合は以下の設定が必要です。
[帳票 DX モバイルエントリー カスタムレイアウトを OPROARTS Connector v2 で設定する](#)

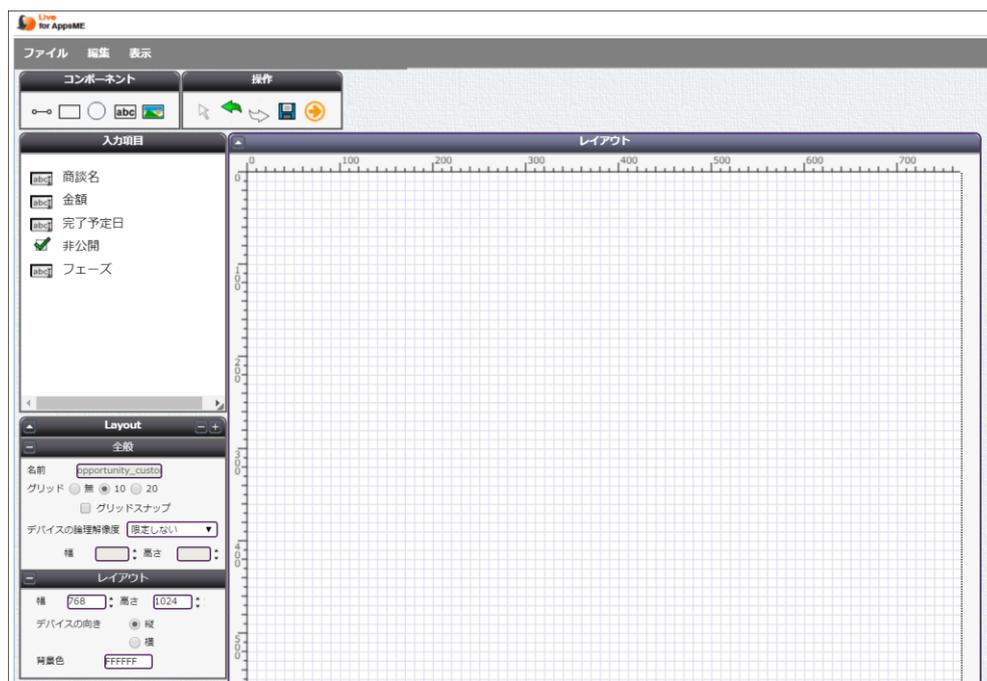
3. カスタムレイアウト一覧画面が開きます。画面左下の[新規作成]をクリックします。



4. カスタムレイアウトの名前(ここでは「テンプレート名」として表示されています)を入力し、[作成]をクリックします。

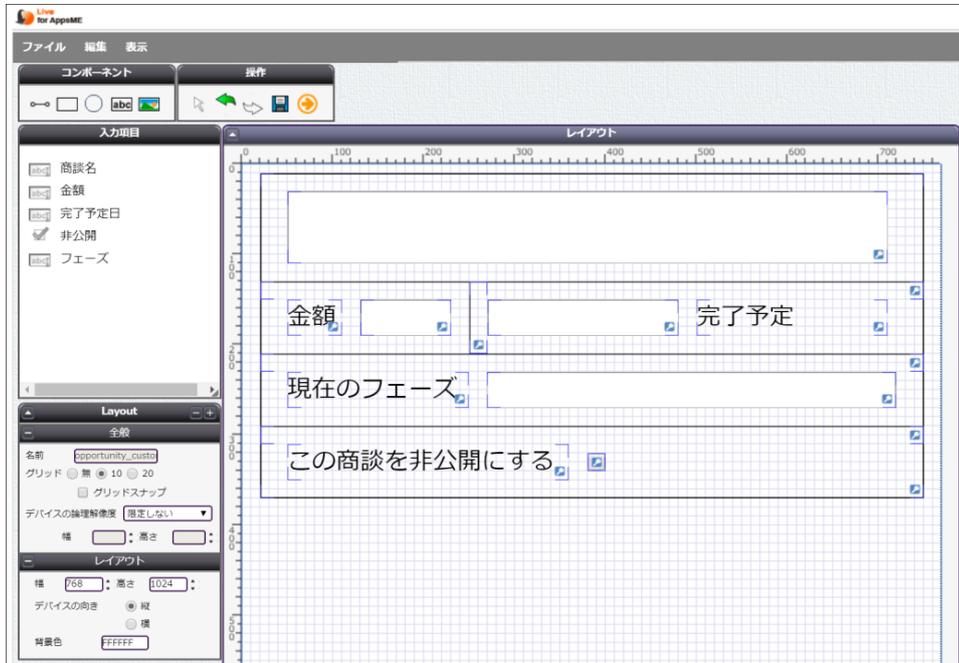


5. カスタムレイアウトのデザイナー画面が開きます。この画面でカスタムレイアウトをデザインしていきます。



4.2 カスタムレイアウトのデザイン

デザイナー画面を開いたら、モバイル端末で表示したいレイアウトをデザインします。
本マニュアルでは以下のデザインを完成形として、作成していきます。



4.2.1 デザイナー画面の各機能説明

ここではデザイナー画面でのレイアウト作成にあたって使用する各機能を紹介します。

■ コンポーネント



- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

- ①線を表示できます。
- ②四角の図形を表示できます。
- ③丸の図形を表示できます。
- ④固定文字列を入力して表示できます。
- ⑤画像を表示することができます。

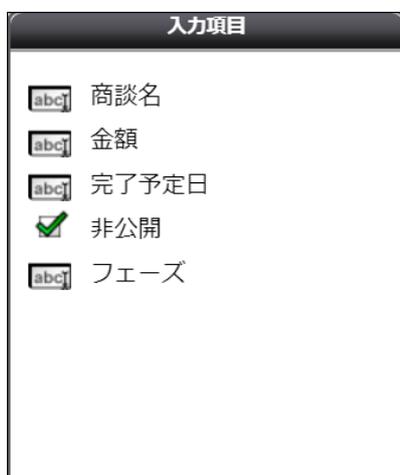
■ 操作



① ② ③ ④ ⑤

- ①ポインターに切り替えます。
- ②1つ前の状態に戻ります。(Undo)
- ③1つ後の状態に進みます。(Redo)
- ④レイアウトを保存します。
- ⑤レイアウトを配備するためのボタンです。

■ 入力項目



ここには「オブジェクト毎のレイアウト」で選択した項目が表示されます。

項目をレイアウトに配置することでモバイル端末の画面上でそれらの項目について閲覧・編集ができるようになります。

■ レイアウト



レイアウトに関するプロパティです。配置したコンポーネントを何も選択していないときに表示されます。

「デバイスの論理解像度」で使用するデバイスを選択したら、モバイル端末に表示される高さや幅とは別に、「レイアウト」で実際のレイアウトのサイズを指定します。

Point

デバイスの論理解像度について

デバイスの論理解像度では、カスタムレイアウトを表示したいモバイル端末の論理解像度を指定します。

「iPad Pro」、「iPad mini / iPad Air」、「iPhone SE / iPhone 5」、「その他」(幅と高さを自分で入力します)、「限定しない」から選択可能です。

※実際にカスタムレイアウトを利用するデバイスと論理解像度の設定が合わない場合、カスタムレイアウトは反映されませんのでご注意ください。

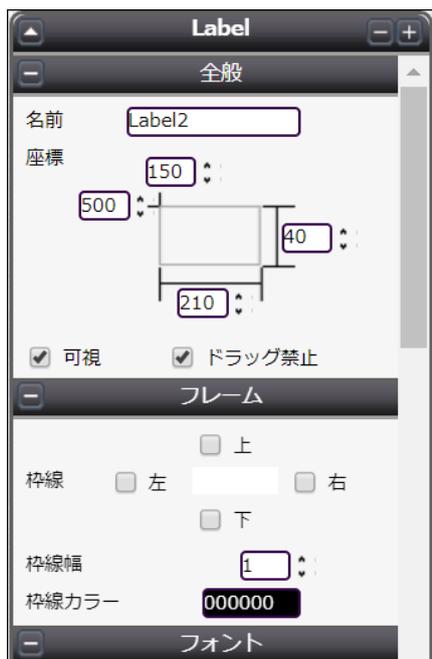
また、「限定しない」を選択することであらゆるデバイスに対応するカスタムレイアウトにすることが可能です。

使用するデバイスが特に決まっていない場合はこちらをご選択ください。



「レイアウト」で指定したサイズがデバイスのサイズよりも大きい場合は、モバイル端末の画面でレイアウト全体を一度に見渡すことはできず、画面に収まる範囲のみをスクロールしながら見ることになります。

■ プロパティ



配置した各コンポーネントを選択した際に画面左側に表示され、コンポーネントの表示を設定します。
表示される内容は、選択したコンポーネントの種類によって変わります。

4.2.2 実際にデザインする

具体的な操作方法をイメージすべく、本章初めに記載のデザインを作成する手順を説明します。

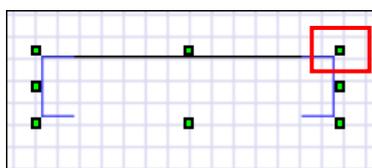
1. まずは罫線を引きます。コンポーネントから Line コンポーネント(4.2.1 の①)を選択し、デザイン領域の配置したいポイントをクリックすることで罫線が配置できます。



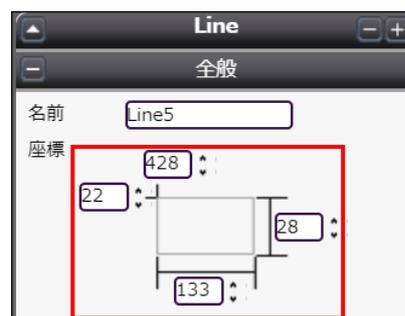
罫線の向きを左側の「向き」で指定します。



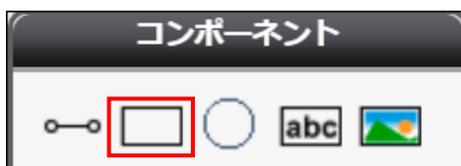
配置したら、四隅の緑印をドラッグ&ドロップするか、左のプロパティエリアで数値を指定することで長さを調節します。



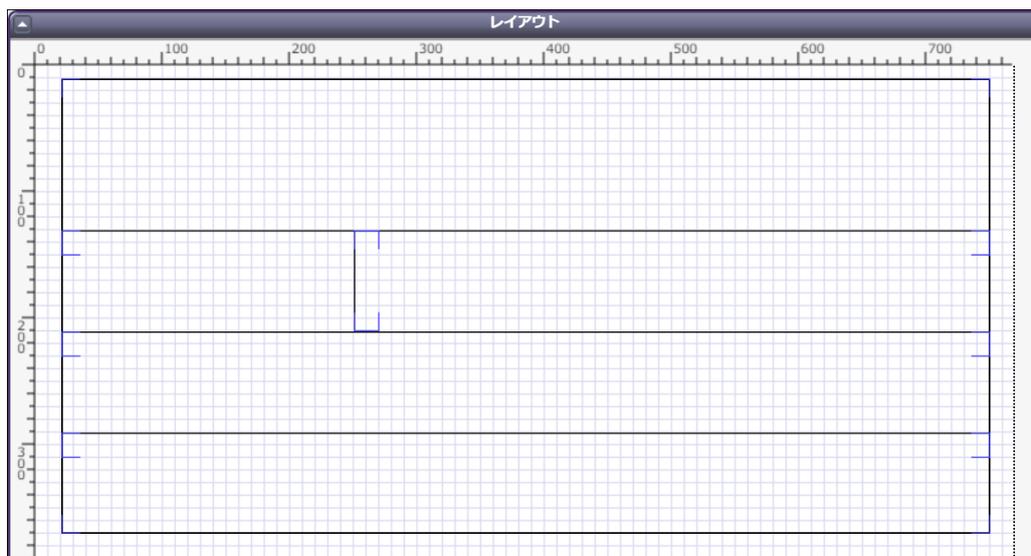
または



また、罫線には Rectangle コンポーネント(4.2.1 の②)も使用できます。

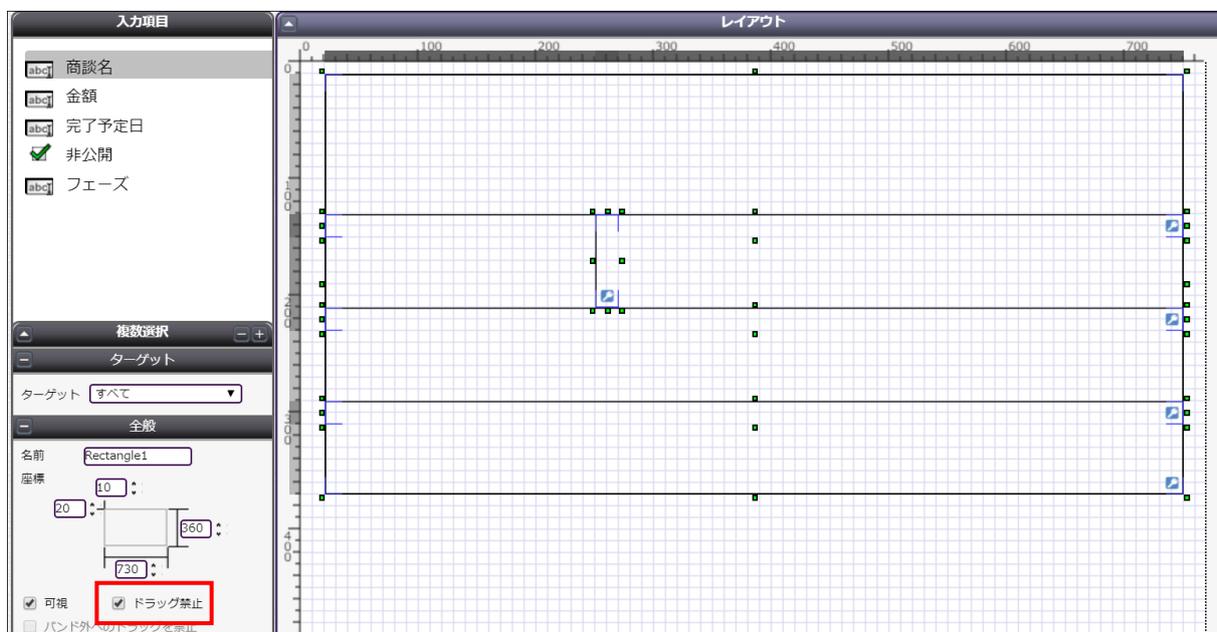


以上の作業を繰り返して、このような見た目に仕上げます。

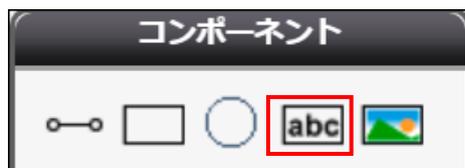


2. 配置場所が決まったら、誤ってマウスでドラッグしてしまわないように「ドラッグ禁止」にチェックを入れます。

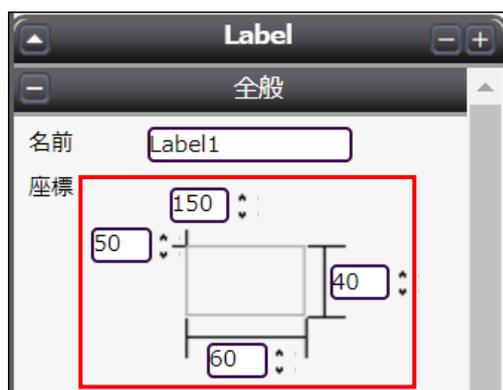
Point Ctrl キーを押しながらコンポーネントを選択する or ドラッグ&ドロップで範囲選択することで複数のコンポーネントを選択でき、複数選択した状態で「ドラッグ禁止」にチェックを入れることで複数のコンポーネントについて一度にドラッグを禁止することができます。



3. 次に固定で表示したい文言(静的項目)を配置します。コンポーネントから Label コンポーネント(4.2.1 の④)を選択し、デザイン領域の配置したいポイントをクリックすることで固定文字列が配置できます。



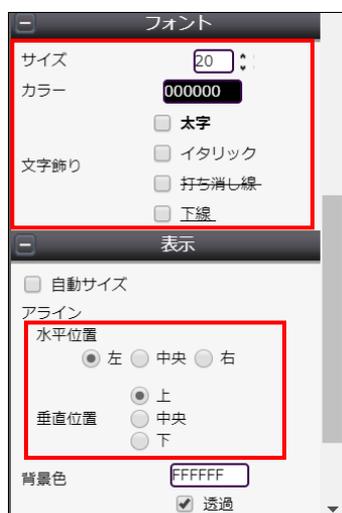
罫線と同様、配置場所と高さ・幅を指定します。



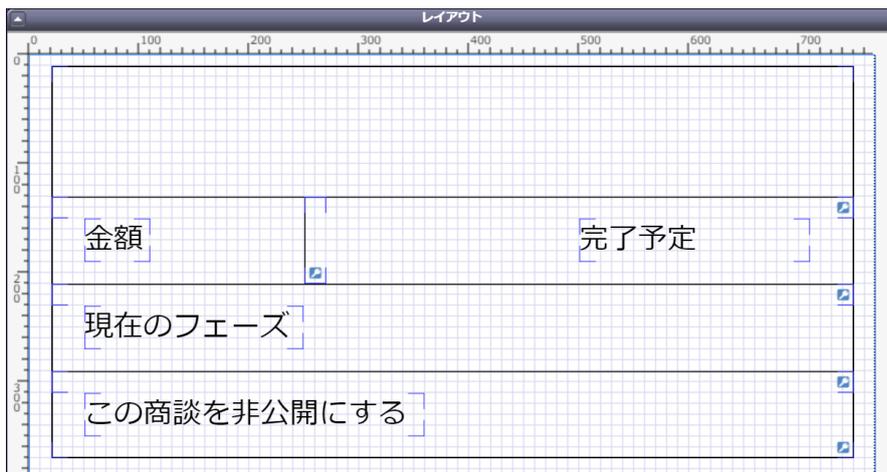
配置したラベルをダブルクリックすると、表示される文字列を指定するポップアップが表示されるので、表示したい文言を入力して[OK]をクリックします。



フォント・文字のサイズについては「フォント」で、文字列をラベルのどの位置に表示させるかについては「表示」で設定します。



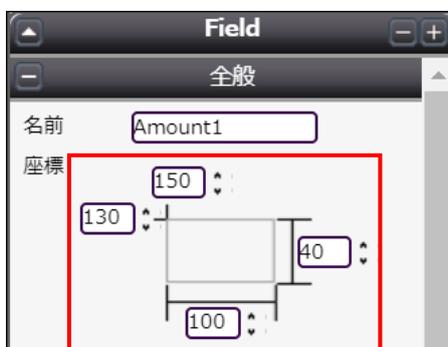
以上の作業を繰り返して、このような見た目に仕上げます。



4. 次に、商談オブジェクトの項目の値を表示したい場所に各項目のラベル(動的項目)を設置します。
各項目について、左の項目リストでラベルをクリックし、続いてデザイン領域の配置したいポイントををクリックすることで動的項目を配置できます。



静的項目と同様、配置場所と高さ・幅を指定します。



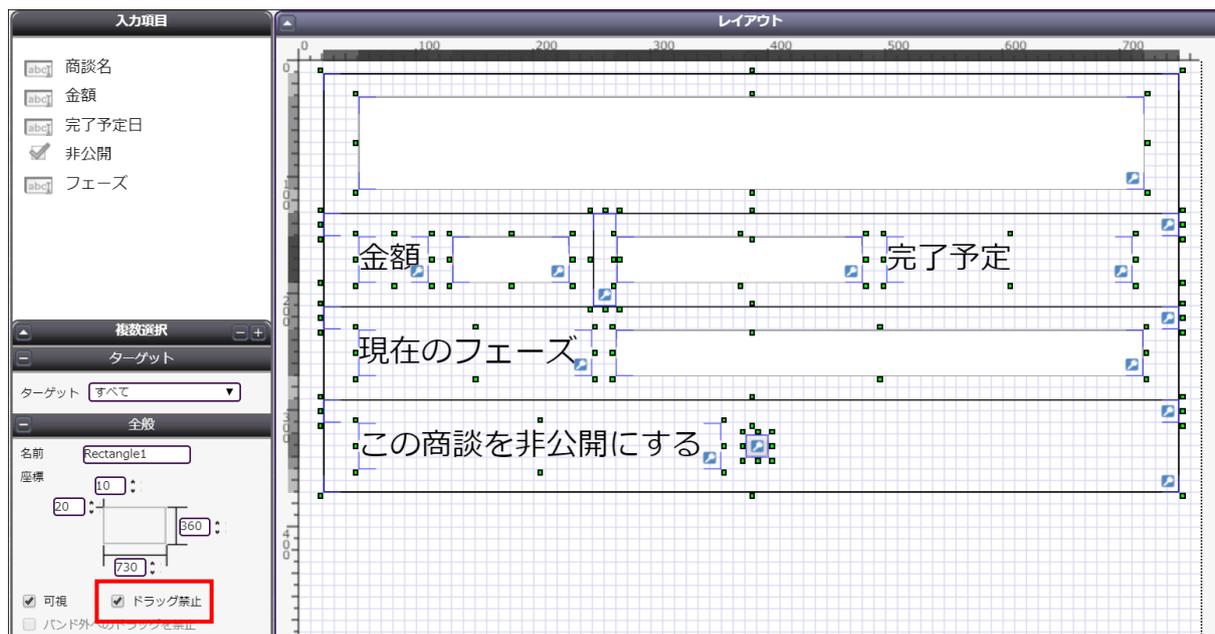
フォント・文字のサイズについて「フォント」で、文字列をラベルのどの位置に表示させるかについて「表示」で設定します。



以上の作業を繰り返して、このような見た目に仕上げます。



5. 静的項目・動的項目についても、罫線同様にドラッグ禁止の設定をします。

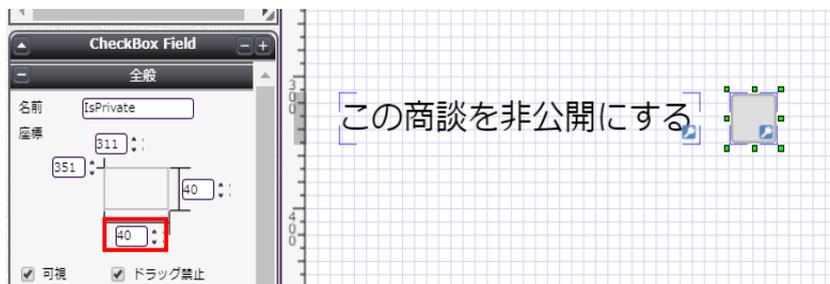


Point

チェックボックス項目のプロパティについて

チェックボックスのサイズ変更をすることができます。
座標幅を指定することで、サイズの指定が可能です。

例：高さと幅を 40(px)に変更



チェック時の背景色を指定することができます。

①「チェック時」にチェックを付けます。②背景色を選択します。



AppsME で表示したときは、以下ようになります。



6. デザインが完了したら、左上の保存ボタンをクリックします。



4.3 カスタムレイアウトの配備

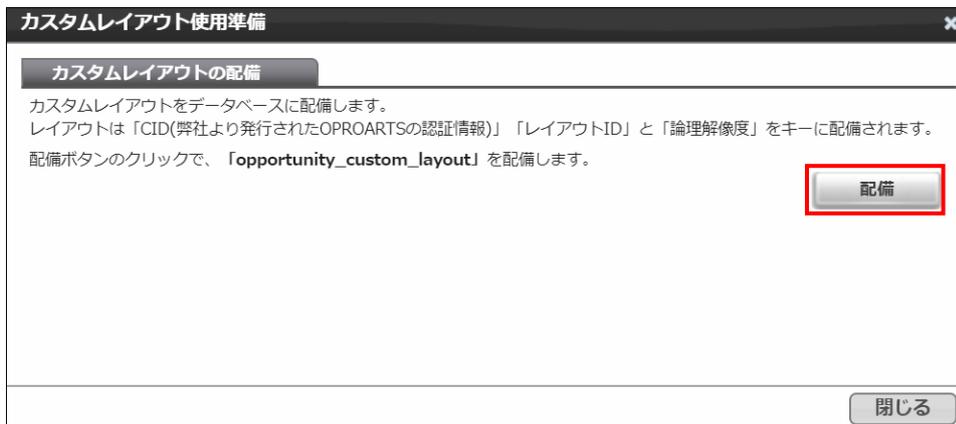
作成したカスタムレイアウトは、OPROARTS サーバー上に配備し、その情報をモバイル端末に同期することでレコードの表示に反映されます。

まずはカスタムレイアウトを配備します。

1. デザインの作成が完了したデザイナー画面で、左上の矢印ボタンをクリックします。



2. ダイアログボックスが表示されるので、[配備]をクリックします。



以上の手順で、作成したカスタムレイアウトが OPROARTS サーバーに配備されました。

5. モバイル端末での設定

配備したカスタムレイアウトを帳票 DX モバイルエントリーでの表示に反映させるための設定をします。

5.1 作成したカスタムレイアウトを反映する

1. モバイル端末で帳票 DX モバイルエントリーを開き、Salesforce にログインします。



帳票DXME



ログイン設定

2. 画面左上のメニューボタンをタップします。



3. [カスタムレイアウトの同期]をタップすれば、商談レコードの詳細画面が作成したレイアウトで表示されるようになります。



4. 実際の表示はこのようになります。



5.2 カスタムレイアウトを解除する

カスタムレイアウトを解除して再度標準のレイアウトで詳細画面を表示したい場合の手順を説明します。

1. 「OPROARTS Connector」アプリの[OPROARTS]タブで、[START]をクリックします。

OPROARTS Connector アプリケーションを有効化するには、認証情報が必要です。 [ヘルプをご覧ください](#)、[認証情報を取得してください](#)。

テンプレートデザイン用の認証情報の登録は、以下の手順に従ってください。

1. OPROARTS列のドロップダウンで「デザイン (LAD)」を選択します。
2. CID列の入力欄に、取得した認証情報のCIDを入力します。
3. 追加ボタンをクリックします。
4. 下のリストに表示されたOPROARTS列の「LAD」リンクをクリックして、OPROARTSの詳細ページを開きます。
5. ユーザ列の入力欄の右のボタンをクリックして、Salesforceのユーザを選択します。
6. UID列の入力欄に、取得した認証情報のUIDを入力します。
7. UPW列の入力欄に、取得した認証情報のパスワードを入力します。
8. 追加ボタンをクリックします。
9. テンプレートのデザインを許可するユーザについて、手順 5. から 8. までを繰り返します。
10. 各ユーザのプロファイルを編集して、OPROARTSオブジェクトとOPROARTSユーザオブジェクトに対する参照のカスタムオブジェクト権限を与えてください。

文書出力用の認証情報の登録は、以下の手順に従ってください。

1. OPROARTS列のドロップダウンで「出力 (LA)」を選択します。
2. CID列の入力欄に、取得した認証情報のCIDを入力します。
3. 追加ボタンをクリックします。
4. 下のリストに表示されたOPROARTS列の「LA」リンクをクリックして、OPROARTSの詳細ページを開きます。
5. ユーザ列の入力欄の右のボタンをクリックして、Salesforceのユーザを選択します。
6. UID列の入力欄に、取得した認証情報のUIDを入力します。
7. UPW列の入力欄に、取得した認証情報のパスワードを入力します。
8. 追加ボタンをクリックします。
9. 文書出力を許可するユーザについて、手順 5. から 8. までを繰り返します。
10. 各ユーザのプロファイルを編集して、OPROARTSオブジェクトとOPROARTSユーザオブジェクトに対する参照のカスタムオブジェクト権限を与えてください。

START 新しいウィンドウで OPROART Designer を開始します!

2. 開いた OPROART Designer で、作成したカスタムレイアウトを選択します。

ドキュメントテンプレート					
名前	opportu	▲ 配備状況 ◆	公開/共有 ◆	作成日時 (フィルタ)	更新日時 (フィルタ) ◆
<input checked="" type="checkbox"/>	opportunity_custom_layout	配備済み	公開中	2019/12/03 14:51:27	2019/12/03 15:23:55

3. [配備解除]ボタンをクリックします。

名前	opportunity_custom_layout	
タイプ	Live for AppsME	
作成日時	2019/12/03 14:51:27	
更新日時	2019/12/03 15:23:55	
配備状況	配備済み	配備解除
メモ	<input type="text"/>	<input type="button" value="保存"/>



テンプレートを組織内に公開する
 テンプレートを共有する

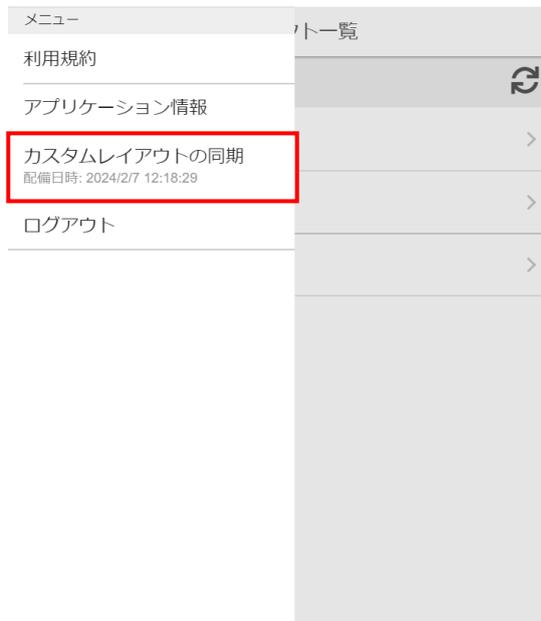
[更新](#)

4. [はい]をクリックします。

配備の解除 ×

テンプレートの配備を解除すると、帳票の出力は行えなくなります。
配備を解除します。よろしいですか?

5. モバイル端末で[カスタムレイアウトの同期]をタップすることで、カスタムレイアウトが詳細画面の表示に反映されなくなります。



6. 実際の表示はこのようになります。



帳票 DX モバイルエントリー
カスタムレイアウト作成ガイド
Salesforce 版

発行元 株式会社オプロ